

公益社団法人青森青年会議所
2019年度 ねぶた事業室 事業計画書

副 理 事 長 長尾 宗幸
 室 長 長尾 宗幸

【基本方針】

青森ねぶた祭は市民が誇るべき祭りであり、我々は当事者意識をもってねぶたによって創られる感動と文化を新たな歴史として紡ぎ続けてきました。これまで51回の参画から改元の本年も、変わりゆく祭りの情勢に注目し、課題解決に向かう青森青年会議所の姿勢に変化はありません。ねぶたへの想いが歴史・文化を継承する一歩になり、祭りを誇る想いがまちを誇る想いへ昇華し、一体となって青森を熱くする市民を増やす必要があります。

まずは、青森青年会議所ねぶたの使命と想いを伝播するために、ねぶた実行委員会の設置・運営をし、会員・関係者と連携強化を図り、自分たちでねぶた運行を作る意識を醸成します。そして、ねぶたへの愛着心を深めるために、全会一致で台組・台上を実施し、細部から完成に至るまで全員の力が結集されていることを再認識します。また、市民が青森ねぶた祭と共に生きていることを誇るために、祭りが地域への愛情と絆から創られていることを知り、祭りの歴史を学び実体験からの魅力を体に焼き付け、文化と歴史の継承を自ら担う人財へ成長します。さらに、青森青年会議所ねぶたにかかわる人々と祭りの安全を祈願するために、ねぶた出陣式を実施し、運行団体の結束力を高め、本番に向け気持ちを一つにします。そして、ねぶたの隊列一つ一つに宿っている皆を魅了し虜にするねぶたの魂を共有するために、本体・囃子・跳人と興奮を抑えきれない沿道の人々との空間を創り出す四位一体の運行をし、日本一熱い夏となる第52回ねぶた祭出陣事業をおこないます。

一人ひとりが青森ねぶた祭の担い手として、祭りそのものの力を感じ、全てが一体となるねぶたの魂を伝える側に回ります。市民の想いが一つになり、ねぶたの感動を伝える姿は皆を魅了する祭りの原動力となります。次代でも精神を変えず、ねぶたへの想いから自然と笑顔が溢れ、ねぶたを愛し当事者意識をもって伝統を守り歴史を創り続けていきます。

【事業計画1】

1	事業名	ねぶた実行委員会の設置・運営【公2】
2	目的	青森青年会議所ねぶたにかかわる全ての人々が使命と想いをもって運行するため。
3	内容	会員・関係者との連携強化と、運行に向けた意識を共有する。
4	予算	0円

【事業計画2】

1	事業名	青森ねぶた祭出陣事業【公2】
2	目的	誇り高き青森ねぶた祭の発展に寄与するため。
3	内容	第52回目の出陣を果たし、祭りの魅力から全ての人を魅了する。
4	予算	14,000,000円

【事業計画3】

1	事業名	台組・台上例会の実施（7月例会）【公2】
2	目的	青年会議所ねぶたがかかわる全員で作られていることを再認識するため。
3	内容	ねぶたは沢山の方々の協力があって成り立っていることを知り、その上でねぶたの台組・台上を全会一致でおこない、ねぶたへの愛
4	予算	50,000円

【事業計画4】

1	事業名	ねぶたの後継者育成事業【公2】
2	目的	ねぶたの担い手を育て、未来の青森ねぶた祭へ向けた一歩とするため。
3	内容	ねぶたの歴史や文化を学び、実体験から得られる魅力を心と体に焼き付ける。
4	予算	1,000,000円

【事業計画5】

1	事業名	ねぶた出陣式の実施【他2】
2	目的	青森青年会議所ねぶたにかかわる全ての人々の心を一つに運行への安全と無事を祈願するため。
3	内容	これまでの無事をお祝いし、運行本番の安全を祈願する。
4	予算	100,000円